

# 2022年度省エネ大賞

## FHアライアンスの全館空調『マツハシステム』

### 省エネルギーセンター会長賞を受賞

(一財)省エネルギーセンターは、「2022年度省エネ大賞」の結果を12月20日に発表した。省エネ大賞は、国内の企業・自治体・教育機関等に対して優れた省エネ推進の事例や、省エネ性に優れた製品並びにビジネスモデルを表彰するもの。今年度は、昨年度のZEB・ZEH分野等新設の影響もあり、例年同等の110件以上の応募があり、省エネ事例部門は28件、製品・ビジネスモデル部門は24件の受賞を決定

した。製品・ビジネスモデル部門において、経済産業大臣賞(家庭分野)を受賞したのが、ダイキン工業㈱のZEHに最適な除湿機能付き外気処理換気システム『サラビア』。同製品は、一般的な全熱交換式1種換気と比較して、全体での換気+空調の消費電力を約20%削減が可能で、天井高など構造を選ばないコンパクトな形状であり汎用性が高い点などが評価された。また、資源エネルギー庁長官賞(家庭

分野)を受賞したのが、リンナイ㈱と㈱コロナのハイブリッド給湯・暖房システム『エコワンX50』。同製品は、一般的なガス給湯機に比べ、38%の省エネを達成すると共に、基礎工事を不要とするコンパクト設計は今後普及が期待できる点などが評価された。

さらに、省エネルギーセンター会長賞を受賞した1つが、㈱FHアライアンスの工務店が造る全館空調『マツハシステム』だ。同製品の特徴は、室内の温度差を生じさせない「大風量小温度差空調」、「高効率汎用製品の活用」、「1坪未満の空調ユニット」など。基準1次エネルギーに対し36%のエネルギー削減が可能で、住宅性能はH E A T 20のG2レベルが必須条件となっている。また、ビジネスモデルに利用する空調システムは、汎用製品を組合せたシステムであり、専用機器を用いる従来の全館空調システムよりも材料費が低減できることから経済性も評価でき、普及が期待できるといった点などが評価された。